

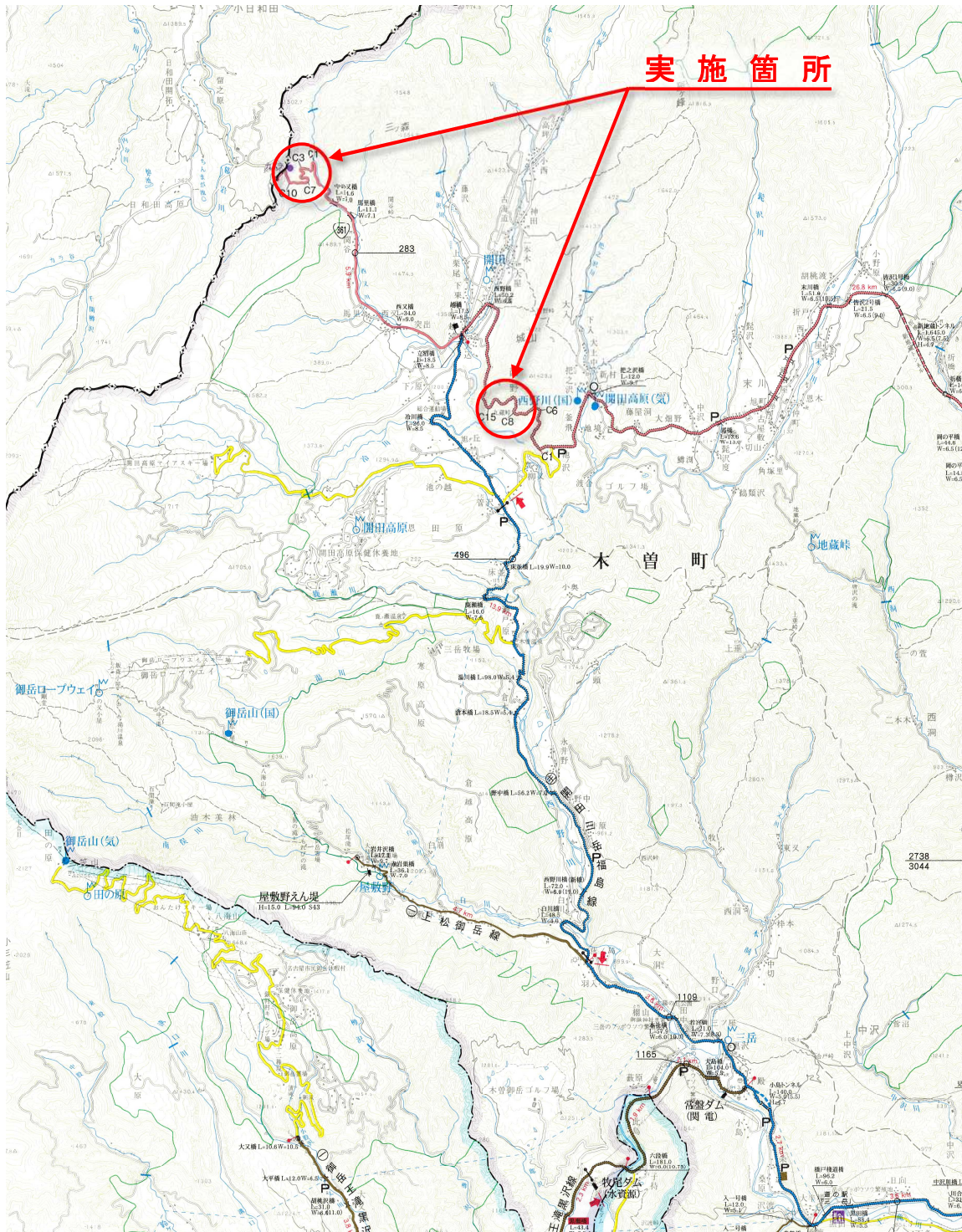
公共事業環境配慮書(案)

建設部 道路建設課

事業名称		
事業名	道路改築事業	
整理番号	R5-9	
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備	
市町村名	木曽郡木曽町	
箇所名	長峰～九蔵	
事業年度	令和2年度～令和10年度	
事業概要		
目的	一般国道361号は岐阜県高山市より伊那市高遠町に至る幹線道路である。岐阜県境である木曽町の長峰峠から九蔵峠の間は、線形不良および幅員狭小な箇所があり、大型車のすれ違いが困難な区間があり、観光バス等の円滑な走行に支障をきたしている状況である。 当該区間を整備することで、線形不良および幅員狭小区間の解消を図り、観光バス等の円滑な走行性を確保する。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	九蔵峠区間 延長L=270m 幅員W=5.5(全幅7.0)m 長峰峠区間 延長L=1,450m 幅員W=5.5(全幅7.0)m	
関連する事業計画	しあわせ信州創造プラン、長野県広域道路交通計画	
その他特記事項	なし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	森林法の保安林等	
その他	なし	
社会的要素 留意すべき地域の概況		
交通の現況	交通量は3,044台/日である。	
土地利用の現況	山地・丘陵である	
生活関連施設の現況	事業区域内に住居はない 事業区域の東側に木曽町役場開田支所がある	
その他	特になし	
自然的環境要素 環境配慮の方針		
大気環境	留意すべき地域の概況	特になし
	【大気汚染の防止】	
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	
	【騒音、振動の防止】	
・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。		
【悪臭の防止】		
・悪臭原因物質を使用しない又は使用量を削減する。		
・悪臭原因物質の使用、保管等の管理を徹底する。		
水環境	留意すべき地域の概況	河川・湖沼がある
	【水質汚濁の防止】	
	・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	
	・チェーンソーを使用する際は生分解性チェーンオイルを使用する。	
	・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。	
【水循環の保全】		
・水田や地下水・湧水を保全する。		
・河川においては下流域の環境の保全のため、正常な流量を確保する。		

地形・地質	留意すべき地域の概況	山地である
	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	・地すべり、崩壊、土石流等の危険性の高い地域や区域の改変を出来るだけ避ける。	
	【改変面積の最小化】	
野生動植物	留意すべき地域の概況	里山の地域である
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。	
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な植物を生育適地へ移植する又は生育地を創出し移植する。	
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	・想定される影響はない。	
	【地域独自の生物多様性の保全】	
景観	留意すべき地域の概況	山地景観を形成している
	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
	【良好な景観の育成】	
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	特になし
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・想定される影響はない。	
	【自然とのふれあい空間の創出】	
文化財等	留意すべき地域の概況	特になし
	【文化財等への配慮】	
	・想定される影響はない。	
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【資源の有効利用】	
	・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	
	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・アイドルストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	
日照障害・電波障害・光害	【点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。】	
	【エネルギーの有効利用】	
	・想定される影響はない。	
	【日照障害への配慮】	
	・想定される影響はない	
【電波障害への配慮】		
・想定される影響はない		
【光害への配慮】		
・想定される影響はない		

位置図



この地図は「測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R4KTf19」を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものの一部を転載したものである。